

市長の深い話

谷が



深谷市長 小島 進

ふれあい座談会を終えて

自治会訪問2023ふれあい座談会が6月で終了しました。平成23年7月から始めましたので、丸2年を要したことになります。座談会では、今の日本の社会状況や深谷市の財政状況などのほか、市政運営における「市民の命を守る」との重要性についても話をさせていただきました。

なぜそのような話をさせていたのだのかといいますと、近年の財政状況が厳しい時代では、市政運営についても費用対効果が求められているからです。しかしながら、市民の命を守るための施策を実施することに関しては、費用対

効果の考えはなじまない。多少の財政負担を伴ったとしても、行政として取り組まなければならない重要な課題である。ということを知りたくて皆さんに知っていただきたかったからです。今年度で3回目となる医師育成奨学金貸与制度や、こども医療費助成の中学校卒業までの拡大、ふっかちゃん子ども福祉基金の創設などは、まさにそのための施策です。

自治会を個別に訪問することは、正直、体力的に厳しいものがあります。しかしながら、4,000人を超える市民の皆さんと直接お会いして、市政について多くの意見を聞くことができ、その声を平成25年度予算に反映することができたことも、この座談会の成果であったと思っています。最後になりましたが、座談会の実施に当たりご協力をいただきました各自治会の皆さんには、この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

TOPICS 1 キララ上柴で土曜日もパスポートを受け取れます

7月6日(土)から、キララ上柴行政サービスセンター内深谷市パスポートセンターで、土曜日でも申請したパスポートを受け取ることができるようになります。(申請は不可)

取りができるのは次のかたです。
対象
①市民
②学生や単身赴任などで県外に住んでいるかた
③海外からの一時帰国者

取扱時間
・申請 1月～金曜日午前9時～午後4時30分
・交付 1月～日曜日午前9時～午後4時30分
※祝休日・年末年始を除きます。
ただし、土・日曜日が祝日と重なる場合、パスポートの交付業務は通常通り行います。
申請・交付場所 キララ上柴行政サービスセンター内深谷市パス

ポートセンター(アリオ深谷3階)
問い合わせ 深谷市パスポートセンター (☎572-5770)



TOPICS 2

深谷のまつり大集合

今年も祭りの季節がやって来ました。市内各所で楽しいイベントが数多く開催されます。皆さん、出掛けてみませんか。

おかべふれあいカーニバル

とき 7月21日(日)午後4時～9時
ところ JR岡部駅通りヤオコー岡部店周辺
内容 みこしをはじめ、屋台ばやしや太鼓演奏、八木節踊り、ダンスフェスティバルなど、楽しいイベントが盛りだくさんです。
問い合わせ 実行委員会事務局 (ふかや市商工会岡部支所内・☎585-3750)

第18回深谷まつり

とき 7月27日(土)午前10時～午後9時
ところ JR深谷駅前・深谷駅通り
内容 みこしパレードをはじめ、花こいソーランやダンスなどステージイベントが盛大に行われます。夕方からは夜のみこしパレード、さらには深谷の夏の夜を彩る山車・屋台によるひき回しやたたき合いが行われます。
問い合わせ 市観光協会 (☎575-0015)

第19回深谷花火大会

とき 8月4日(日)午後7時～9時(雨天の場合は11日(日))
ところ 川本総合支所南側荒川河川敷
内容 夏の夜空を華麗に彩る花火大会を実施します。尺玉やスターマインなどの美しい花火の競演をお楽しみください。
問い合わせ 実行委員会事務局 (ふかや市商工会川本支所内・☎583-2222)

はなぞのふるさと納涼夏まつり

とき 8月14日(水)(雨天の場合は15日(木))
※詳細は広報ふかや8月号でお知らせします。
問い合わせ 実行委員会事務局 (ふかや市商工会花園支所内・☎584-2325)

ありがとうの手紙



優秀賞

小学校低学年の部
ぬけた ぼくのはへ

深谷小学校1年(現2年) 石田 侑羽さん

このあいだ、三ぼんめのはがぬけた。
一ぼんめのはは、知らないあいだにぬけて、二ぼんめのはは、おかあさんにわたしてある。そして、三ぼんめのはがぬけた。
いままで、ありがとう。
ぼくがごはんを食べるのに、ほかのはとっしょにたくさんのたべものをかみくだいてくれて、ありがとう。
これからは、ほかのはとあたらしいはが、がんばってくれるよ。
いままで、ありがとう。

みんなの声 BOX

Q 隣の空き地に雑草が繁茂し困っています。どうしたらよいですか。

A 環境衛生課にご相談ください。状況を確認後、市が土地所有者に対して指導します。

市では、空き地に雑草が繁茂し、害虫の発生など近隣の環境に著しく悪影響を与えている状況が確認された場合には、土地所有者に対し適正管理についての指導を行います。お困りの際は、環境衛生課にご相談ください。

なお、農地に雑草が繁茂している場合には、農業委員会にご相談ください。
問い合わせ 環境衛生課 (☎585-2215)、農業委員会 (☎574-6663)

インド定期航路の開拓

西南戦争は通貨の供給量の異常な膨張、諸物価の騰貴、輸入品の急増などをもたらしました。とりわけ庶民の日用に供する綿製品の輸入があまりに多く、これに危機感を持った栄一は、その国産化を企図し、一大紡績工場設立を決意します。明治十二年（一八八〇）十月、大阪紡績株式会社の設立です。栄一をはじめ、東京から益田孝や大倉喜八郎、関西から松本重太郎や藤田伝三郎らの実業家が加わり、旧大名家の前田利嗣・蜂須賀茂韶・毛利元徳らが名を連ね、当時としては破格の大企業でした。

用意周到な栄一は、設立に先立ち、英国滞在中の山辺丈夫に委嘱して、先進の紡績技術を習得させます。栄一は、山辺の帰国を待ち、各地に動力源としての水力を求めて踏査しますが、適当な地がなく、ついに動力を火力に求めることを決定し、工場用地を大阪三軒屋に確保します。同社は、明治十六年（一八八三）七月に操業を開始。以後、業績は順調に推移して行きますが、同二十年前後から原料である綿花が不足を来し、これ以上発展が望めないという事態に立ち至ります。

栄一は提案して、インドのボンベイ（ムンバイ）から綿花を輸入する道を探ります。社員の川村利兵衛や横浜正金銀行頭取の原六郎らの努力により、現地のタタ商会に口座を開くことになり、明治二十六年（一八九三）夏には、タタ商会の総帥ジャムセトジー・ヌツセルワンの総帥ジャムセトジー・ヌツセルワンと、両者は意気投合、固い絆で結ばれます。

当時海外の定期航路は外国企業が独占していました。栄一は、ここはどうしても自前の船を仕立てなければならぬと考え、かつての敵方とも言うべき三菱の経営色の強い日本郵船の船を使うことを決断します。同年十一月七日、日本初の海外定期航路として、神戸からインドに向けて広島丸が出港。恩讐を越えて国利民福のために、尽す栄一でした。（文：新井慎二）

物語の手引き

『大阪紡績株式会社』
 現在の東洋紡績株式会社の前身会社。大正3年（1914）に三重紡績株式会社と合併し、当時国内最大の紡績会社となりました。初代社長の山辺丈夫は、日本の株式会社において、資本家出身ではない専門経営者第1号でした。

『タタ商会』
 ジャムセトジー・ヌツセルワンジ・タタ（1839 - 1904）が綿花商から身を起し、綿紡績業で財を成しました。その後、海運・ホテル・不動産・住宅・鉄鋼・電力などの分野に次々と進出し、インドを代表する財閥の一つとなっています。



▲ジャムセトジー・ヌツセルワンジ・タタ（写真左）とその一族（出典：『タタ財閥』東洋経済新報社）



© 沢沢史料館

夢はソチパラリンピック



キラリ 熱・中・時・間

～車いすのアスリート 村岡桃佳さん～

今年12月、アメリカで行われるノルアムカップにチエアスキー日本代表として出場する村岡桃佳さん（正智深谷高校2年）。

村岡さんは4歳の時、横断性脊髄炎を患い、下半身にまひが残りました。車いすでの生活を余儀なくされましたが、川本北小2年の時、転機が訪れます。両親に勧められて、車いすのスポーツキャンプに参加。そこで陸上競技と出会います。

「とにかく格好良かった。競技用の車いすで感じる風は、普段と違って気持ち良くて、自分を理解してくれる仲間にも出会えた」と当時を思い、笑顔がこぼれます。

小学4年で陸上の才能が開花。中学2年で出場した関東身体障害者陸上競技選手権大会の100m種目では、日本記録にあと0.64秒まで迫ります。

大活躍する村岡さんについて、両親や担任の先生は、「体は小柄でも、根性はヒカイチ。勉強も手



▲昨年のノムアムカップの様子（アメリカ・コロラド州カッパーマウンテン）

を抜かず、かなりの努力家です」と口をそろえます。

川本中3年になると、陸上仲間

に勧められていたアルペンスキーを本格的に始動。初出場したジャパンパラリンピックアルペンスキー競技大会で、見事女子座位の部・大回転で3位入賞を果たします。続く今年3月の同大会では、元日本代表・ハンクパーパラリンピック銅メダリストを0.51秒上回るタイムをたたき出しました。

「来年3月のパラリンピックに家族を連れていきたい」と語る村岡さん。今後の活躍から目が離せません。

ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる

ふっか散歩

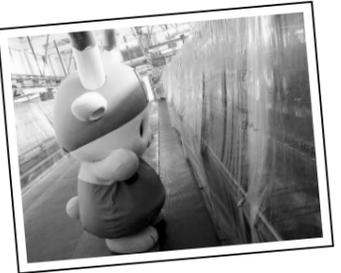
④ 富岡製糸場編

群馬県富岡市の『富岡製糸場』に行ってきたよ。富岡市のイメージキャラクターの『お富ちゃん』がお迎えしてくれたんだ。どうやら、深谷市とはすごく関係が深いところなんだって。



▲富岡製糸場は明治5年に開業して、深谷市出身の人が多く関係しているんだ。沢沢栄一さんは設置主任として指揮していたし、尾高惇忠さんは初代場長、藤塚直次郎さんは煉瓦・瓦の製造責任者と、大活躍だったんだって。

▶ここは繰糸場といって、繭から糸を紡ぐ機械がたくさんあったよ。富岡製糸場で働いていた女性は、工女と呼ばれていて、尾高惇忠さんの娘、尾高勇さんが第一号なんだって。勇さんもここで働いていたのかな～。



ふっかちゃんのつぶやき

夏はお祭りがたくさんあってわくわくするね。でも、深谷の夏はすこーく暑くなるから、体には気をつけようね！